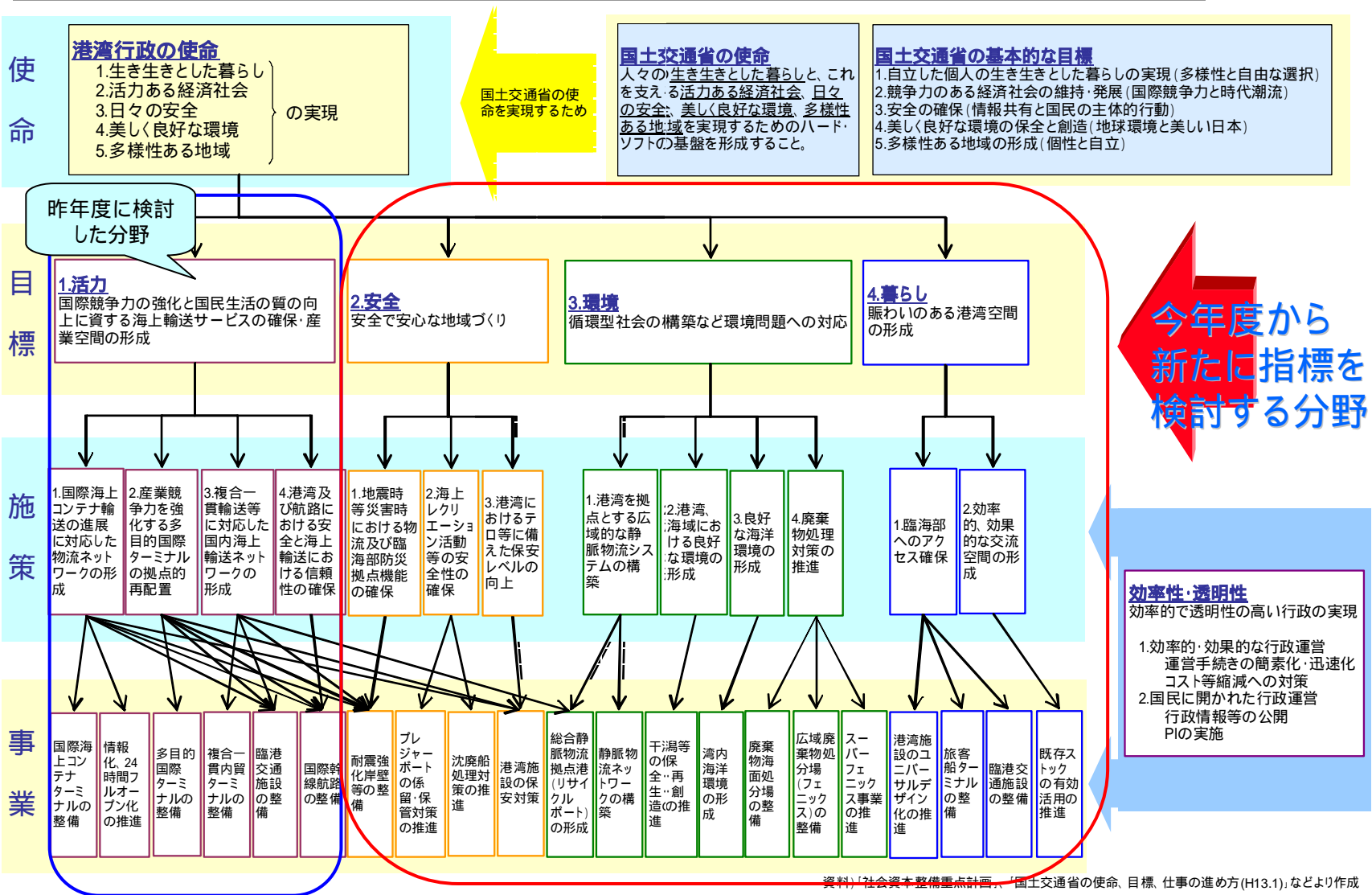

共通指標(案)の検討

- 1) 港湾行政の戦略プラン
- 2) 指標の選定手順
- 3) アウトカムのフロー図
- 4) 指標選定カルテ
- 5) 試行事務所による共通指標(物流分野)への意見と対応案
- 6) 共通指標(案)の選定

1) 港湾行政の戦略プラン



資料)「社会資本整備重点計画」、「国土交通省の使命、目標、仕事の進め方(H13.1)」などより作成

2) 指標の選定手順

(1) 「物流」分野以外のアウトカムのフロー図(ロジックモデル)

「安全」、「環境」、「暮らし」分野の供用段階におけるインプット、活動(アクティビティ)、アウトプット、アウトカムといった要素間の関係を線でつなぐことにより、成果達成のための道筋や手順を明らかにするためにロジックモデルを作成。

(2) アウトカムの選出

行政の効率化や国民等への説明責任の履行に資するアウトカム、特定の施策や事業等が目指す結果を表すアウトカムなどを選出。

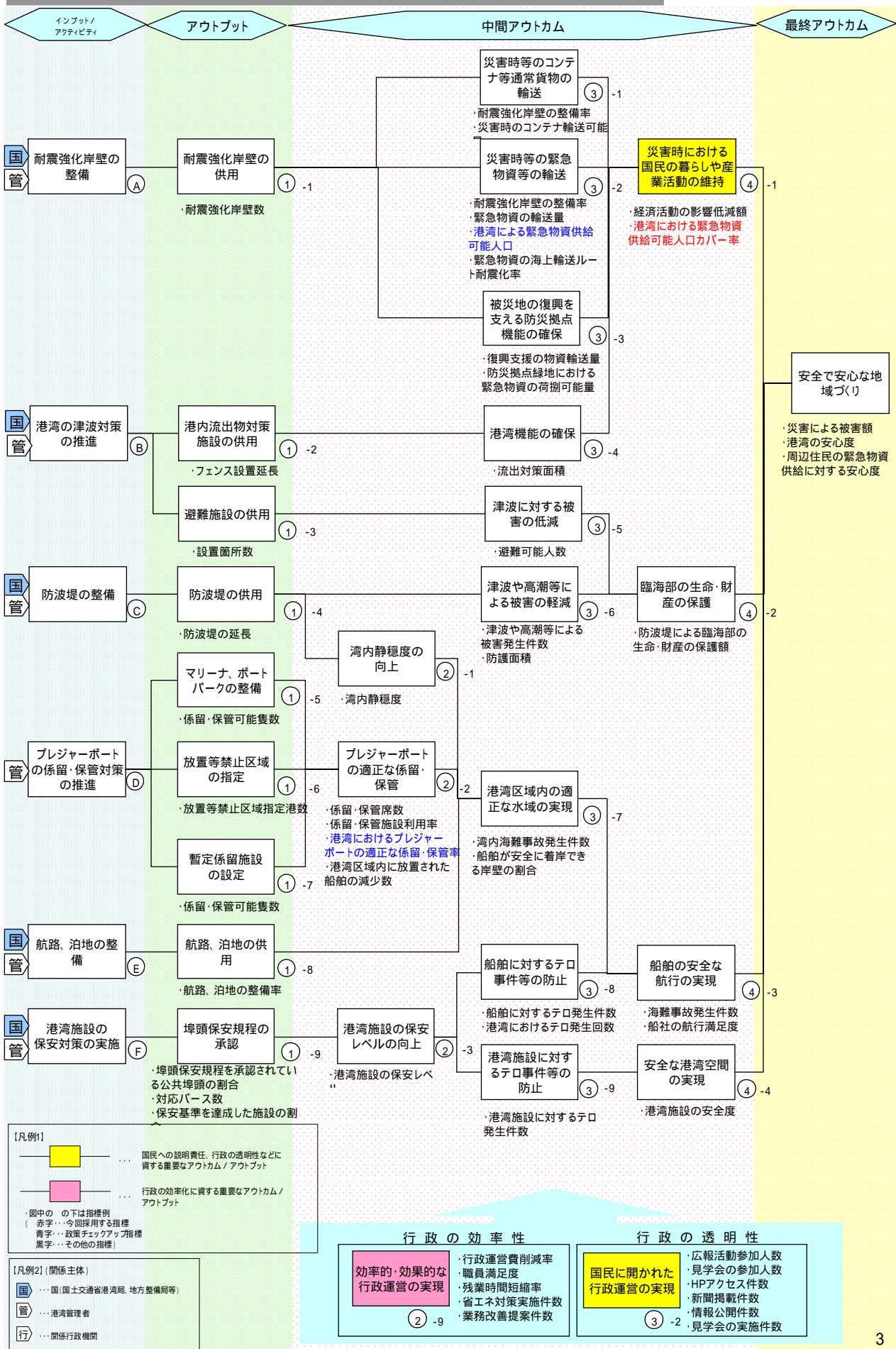
(3) アウトカムに関わる指標候補(案)の選出

アウトカムの達成度を的確に測定できる指標の候補をいくつか選出。
共通指標・・・港湾行政として把握し戦略的に活用できる情報や競争原理による比較目標の明確化などを目的とした全国共通の指標。
独自指標・・・事務所や管内港湾の課題解決に向けコントロール性等を考慮しつつ、事務所が独自に設定する指標。

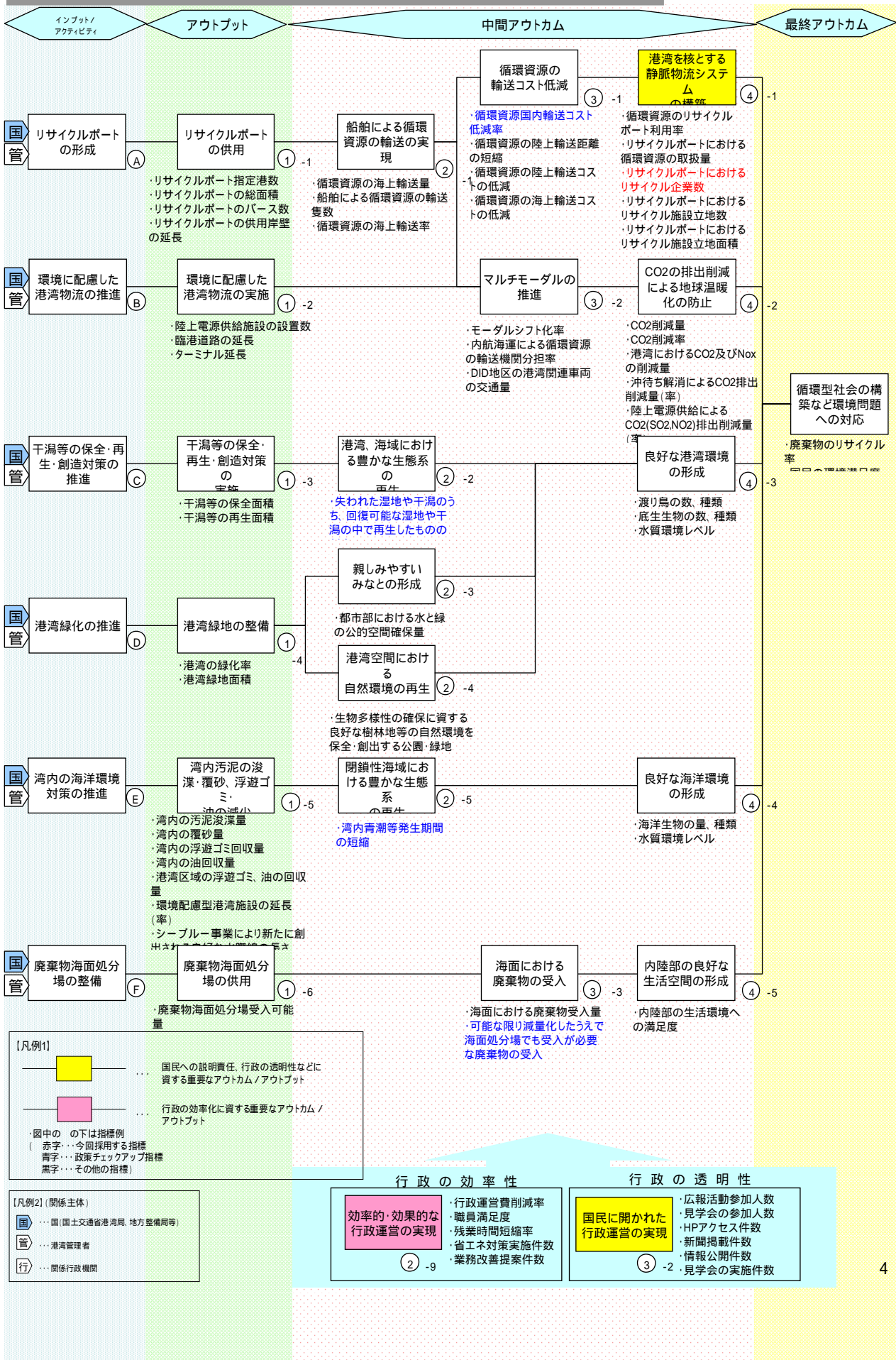
(4) 指標(案)の選定

アウトカムへの寄与度やデータの収集性、長所や短所などを鑑み指標候補(案)を選出。

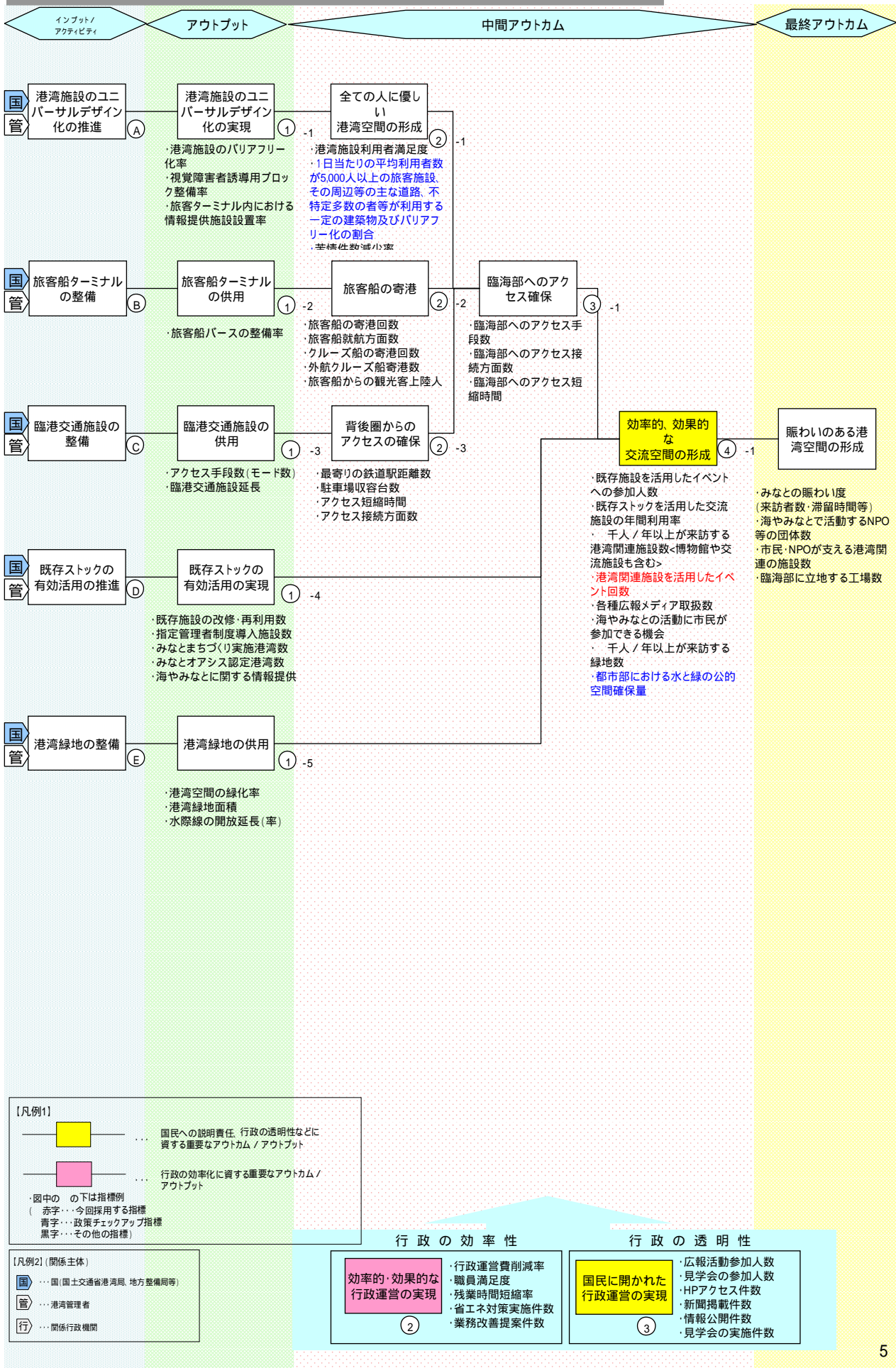
3-1) 「安全」分野のアウトカムのフロー図(案)



3-2 「環境」分野のアウトカムのフロー図(案)



3-3) 「暮らし」分野のアウトカムのフロー図(案)



4-1) 安全・安心なサービスの提供

【追加指標-1】 港湾における緊急物資供給可能人口カバー率

【指標の概要】 耐震強化岸壁を整備することにより、災害時の緊急物資等の輸送が可能になる。災害時に緊急物資等を輸送することにより、災害時における国民の暮らしや産業活動が維持され、安全で安心な地域づくりが可能になることから、港湾における緊急物資供給可能人口カバー率を、安全・安心なサービスが提供されているかどうかの代表指標とする。

対象指標のアウトカムフロー

安全・安心なサービスが提供されているか？

災害時等に緊急物資等の輸送が可能なのか？

港湾における緊急物資供給可能人口カバー率

災害時等の緊急物資等の輸送

災害時における国民の暮らしや産業活動の維持

安全で安心な地域づくり

指標の定義

港湾における緊急物資供給可能人口カバー率

(= 港湾における緊急物資供給可能人口 / 港湾が担うべき緊急物資供給対象人口)

集計単位

港湾別

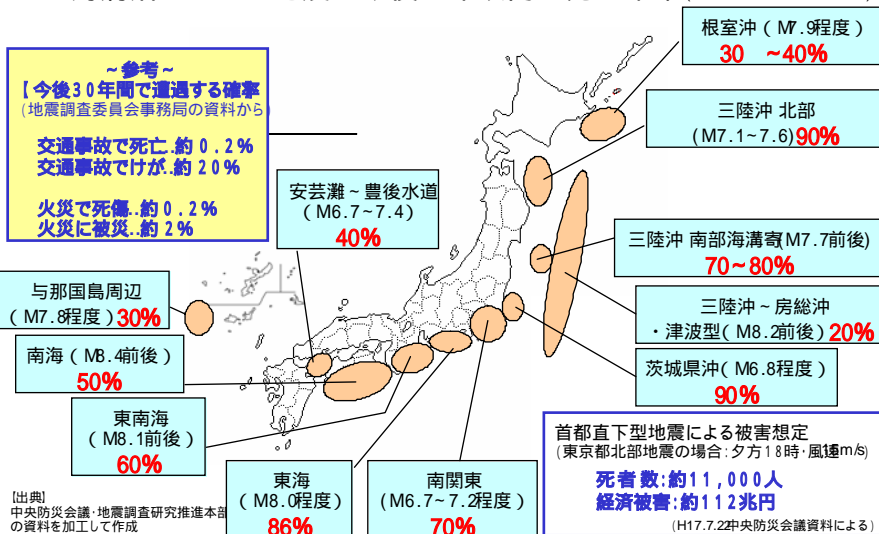
目標設定イメージ

港： 50%(H16) 60%(H17)

データソース

事務所の管理データ

海溝沿いの主な地震の今後30年以内の発生確率(20%以上のみ掲載)



緊急物資輸送に対応した耐震強化岸壁と防災拠点



4-2) 環境問題への対応

【追加指標-2】 リサイクルポートにおけるリサイクル企業数

【指標の概要】 リサイクルポートを推進することにより、船舶による循環資源の輸送が増加する。それにより、モーダルシフトが推進されることになりCO2の排出削減による地球温暖化が防止できるだけでなく、循環資源を船舶で輸送することにより循環資源の輸送コストが低減し港湾を核とする静脈物流システムが構築されることにより、循環型社会の構築など環境問題への対応が可能になることから、リサイクルポートにおけるリサイクル企業数を、環境問題への対応がなされているかどうかの代表指標とする。

対象指標のアウトカムフロー

環境問題への対応が
なされているか？

港湾を核とする静脈物流
システムが構築されているか？

〔リサイクルポートにおける
リサイクル企業数〕

循環型社会の構築

環境問題への対応

指標の定義 リサイクルポートにおけるリサイクル企業数

集計単位 港湾別

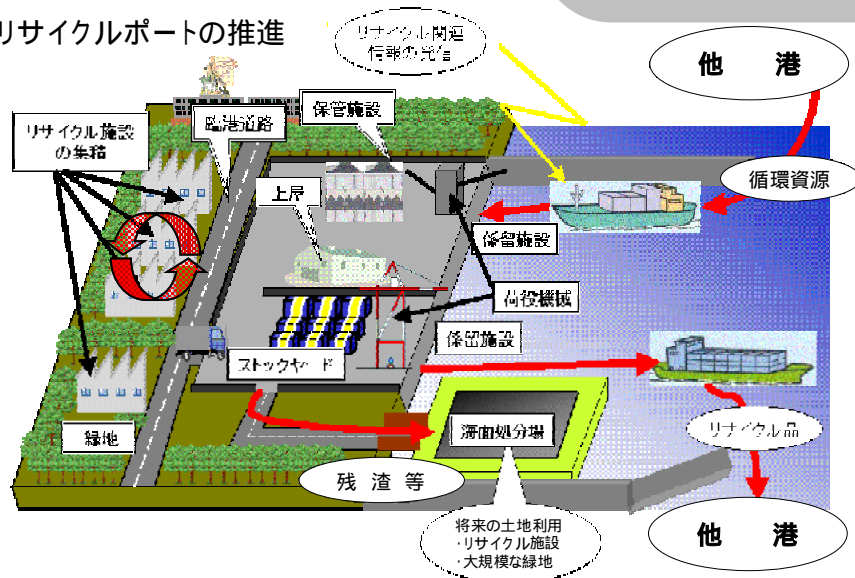
目標設定イメージ 港： 10社(H16) 15社(H17)

データソース 事務所の管理データ

リサイクルプロジェクトの推進

リサイクルを促進し循環型社会の構築を図るため、循環資源を取り扱う岸壁等の港湾施設整備を推進するとともに、積替・保管施設等の施設整備への支援メニューを拡充することにより、臨海部においてリサイクルの拠点化を進め、海上静脈物流ネットワークの形成を推進する。

リサイクルポートの推進



総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)指定18港

港湾管理者からの申請に基づいて、広域的な静脈物流の拠点となる港湾を国がリサイクルポートとして指定



4-3) 賑わいのある港湾空間の形成

【追加指標-3】 港湾関連施設を活用したイベント回数

【指標の概要】 港湾関連施設を活用したイベント等を開催することにより、人々が港湾空間に集い利用することで効率的かつ効果的な交流空間が形成され、賑わいのある港湾空間が形成されることから、港湾関連施設を活用したイベント回数を、賑わいのある港湾空間が形成されているかどうかの代表指標とする。

指標の定義	港湾関連施設を活用したイベント回数
集計単位	港湾別
目標設定イメージ	港： 10回 / 年(H17) 15回 / 年(H18)
データソース	事務所の管理データ

みなと観光交流促進プロジェクトの推進

プロジェクトを展開する3つの観点

- ・みなとの観光交流（イベントの開催等）
- ・海からのアクセス（クルーズの振興等）
- ・都市と観光地の施策との連携（周辺観光地との連携等）

クルーズの誘致（横浜港） ～ 後背都市・観光地との連携～



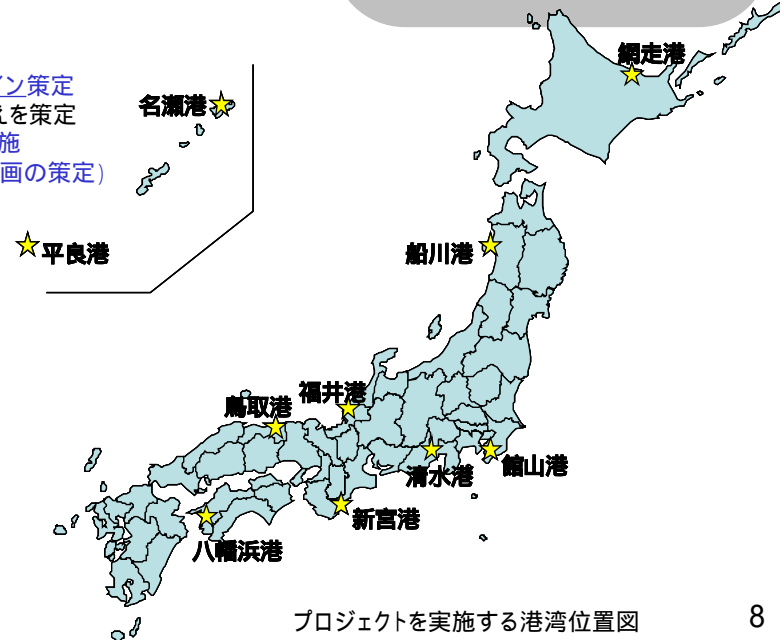
交通拠点、海・陸からのアクセス機能の向上

スケジュール

平成16年度

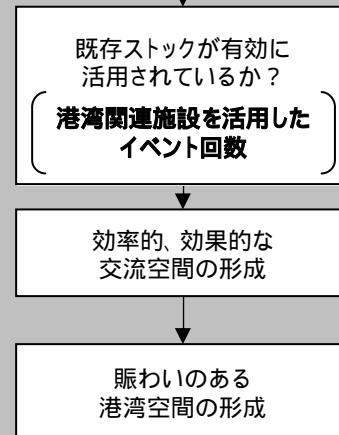
みなと観光交流促進プロジェクトガイドライン策定
行動計画を策定する際の基本的な考えを策定

平成17年度 全国10港でプロジェクトを実施
(協議会の立ち上げ、行動計画の策定)



プロジェクトを実施する港湾位置図

対象指標のアウトカムフロー
賑わいのある港湾空間が
形成されているか？



5) 試行事務所による共通指標(物流分野)への意見と対応案

番号	指標(案)	分かりやすさ	データ収集性	継続性	客観性	総合評価	主な意見	対応案
1	大水深ターミナル等における寄港船舶の平均船型	1点:2 2点:3 3点:2 4点:4 5点:0 2.7	1点:0 2点:1 3点:4 4点:3 5点:2 3.6	1点:0 2点:0 3点:1 4点:5 5点:5 4.4	1点:0 2点:0 3点:0 4点:4 5点:7 4.6		(1)寄港船舶のデータは総トン数(GT)で取りまとめているため、コンテナ船の場合、TEU換算が必要になるため、各港で換算式を統一するか、GT単位で統一すべきでは。 (2)貨物量及び船型等のデータは暦年での整理であるため、年度データでの整理は困難。 (3)例えば、航路を誘致すればするほど数値として下がる場合が多々あるので、当指標として不適当と思われる。	(1)集計単位は、総トン数(GT)で統一する。 (2)当指標の集計時期は、年度ではなく暦年データで統一する。 (3)船型の大型化が期待される基幹航路の船型のみを対象とする。
2	船舶の出入港等に関する手続きの電子データ利用率	1点:0 2点:4 3点:3 4点:3 5点:1 3.1	1点:0 2点:1 3点:4 4点:3 5点:2 3.6	1点:0 2点:0 3点:1 4点:5 5点:5 4.4	1点:0 2点:0 3点:0 4点:3 5点:8 4.7		(1)実際の件数については、取扱会社からのデータ提供が必要。	(1)取扱会社や港湾管理者など関係機関と調整の上、データを取得する。
3	主要ターミナルにおける船舶の欠航等回数	1点:0 2点:3 3点:2 4点:4 5点:2 3.5	1点:5 2点:2 3点:2 4点:0 5点:1 2.0	1点:2 2点:2 3点:2 4点:3 5点:2 3.1	1点:0 2点:3 3点:1 4点:4 5点:2 3.5	×	(1)欠航等回数を実測値で把握することは不可能。 (2)欠航・遅延の直接的な影響が防波堤整備によるところであるかの判断が難しい。	当指標は、防波堤整備以外にも台風をはじめ様々な要因がありコントロール性が著しく低いこと、実測値による把握が難しいとの声が多いことから、共通指標としては採用しない。ただし、港によっては分かりやすく必要な指標なので、独自指標の候補とする。
4	目標取扱貨物量の伸び率	1点:0 2点:1 3点:3 4点:4 5点:3 3.8	1点:1 2点:1 3点:3 4点:2 5点:3 3.5	1点:0 2点:0 3点:3 4点:3 5点:5 4.2	1点:0 2点:1 3点:1 4点:1 5点:8 4.5		(1)貨物量及び船型等のデータは暦年での整理であるため、年度データでの整理は困難。 (2)評価年度の前年度取扱貨物量実績より指標を定めてはどうか。	(1)当指標の集計時期は、年度ではなく暦年で統一する。 (2)上位計画等の目標取扱貨物量の伸び率で評価するのではなく、前年度の取扱貨物量からの伸び率で評価する。 新たな指標名及び算出式「主要ターミナルにおける取扱貨物量の伸び率 = 主要ターミナルの取扱貨物量 / 主要ターミナルの前年度の取扱貨物量」
5	主要ターミナルにおける年間貿易額	1点:0 2点:1 3点:2 4点:4 5点:3 3.9	1点:5 2点:2 3点:1 4点:1 5点:0 1.8	1点:2 2点:0 3点:2 4点:4 5点:2 3.4	1点:1 2点:0 3点:1 4点:4 5点:3 4.0	×	(1)ターミナル毎の貿易額のデータ収集は不可能。また、公表する以上、データの信頼性の観点からも不適当。	当指標は、税関の港単位の貿易額をターミナルの品目別貨物量などで按分する方法を考えていたが、その換算等に時間が掛かること、データの信頼性に欠け誤解を招く恐れがあることなどから、共通指標としては採用しない。ただし、港湾の利用状況を分かりやすく表すデータなので、港湾全体での貿易額等はバックデータとして収集するなど留意するものとする。
6	港湾広報活動への年間参加人数	1点:0 2点:1 3点:3 4点:4 5点:3 3.8	1点:0 2点:0 3点:0 4点:4 5点:6 4.6	1点:0 2点:0 3点:4 4点:2 5点:5 4.1	1点:1 2点:0 3点:3 4点:1 5点:6 4.0		特に意見なし	-
7	事業計画の達成度	1点:0 2点:1 3点:3 4点:3 5点:4 3.9	1点:0 2点:0 3点:1 4点:2 5点:7 4.6	1点:0 2点:0 3点:2 4点:2 5点:7 4.5	1点:0 2点:1 3点:2 4点:1 5点:7 4.3		特に意見なし	-
8	工事コスト縮減率	1点:0 2点:1 3点:2 4点:1 5点:7 4.3	1点:0 2点:0 3点:2 4点:2 5点:6 4.4	1点:0 2点:0 3点:4 4点:3 5点:4 4.0	1点:0 2点:1 3点:7 4点:1 5点:2 3.4		特に意見なし	-

【凡例】

1点:	}	事務所数
2点:		
3点:		
.		
3.2		平均点

6) 共通指標(案)の選定

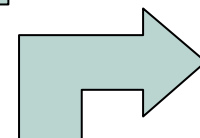
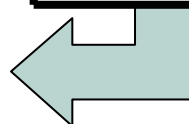
共通指標(案)の一覧

A. 国民への説明責任・成果主義などへの対応
(1) 安く・速いサービスの提供
【指標-1】大水深ターミナル等における寄港船舶の平均船型
【指標-2】船舶の入出港等に関わる手続きの電子データ利用率
(2) 安全・安心なサービスの提供
【指標-3】港湾における緊急物資供給可能人口カバー率
(3) 効率的な投資・効果的な港湾の利用の実現
【指標-4】主要ターミナルにおける取扱貨物量の伸び率
(4) 環境問題への対応
【指標-5】リサイクルポートにおけるリサイクル企業数
(5) 賑わいのある港湾空間の形成
【指標-6】港湾関連施設を活用したイベント回数
(4) 透明性の高い行政の実現
【指標-7】港湾広報活動への年間参加人数
B. より効率的な行政への対応
(1) 効率的・効果的な行政への対応
【指標-8】事業計画の達成度
【指標-9】工事コスト縮減率

「安全」分野の指標を追加

(2) 安全・安心なサービスの提供

【追加指標-1】港湾における緊急物資供給可能人口カバー率



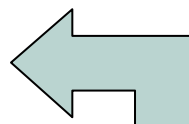
試行結果を踏まえ、以下の2指標については不採用

(2) 安全・安心なサービスの提供

【不採用指標-1】主要ターミナルにおける船舶の欠航等回数

(3) 効率的な投資・効果的な港湾の利用の実現

【不採用指標-2】主要ターミナルにおける年間貿易額



「環境」、「暮らし」分野の指標を追加

(4) 環境問題への対応

【追加指標-2】リサイクルポートにおけるリサイクル企業数

(5) 賑わいのある港湾空間の形成

【追加指標-3】港湾関連施設を活用したイベント回数